実業団登録クラブチーム

Esperance Stage

２００８年　活動報告

フランス語 征サポート Espérance Stage

OGK

WAVE ONE

pâtisserie café L'oiseau Bleu

濱本塗装店

きらら浜サイクルミーティング Kirara-hama Cycle Meeting

アノサイクル 山口市大内矢田 TEL.083-927-2620

SPORTCYCLE SHOP TSUNO YAMAGUCHI. YUDA

HIDEO

SINCE 1908 100TH ANNIVERSARY HIROSHIGE

tropical days Michey

目　　次

（１）　実業団クラブチーム「EsperanceStage（エスペランス・スタージュ)」

・「全日本実業団自転車競技連盟（ＪＢＣＦ）登録チーム」の状況

・地域密着型クラブチームの必要性

・実業団登録クラブチーム「EsperanceStage（エスペランス・スタージュ)」の特性

・クラブチームの母体となる「 EsperanceStage（エスペランス・スタージュ） 」とは？

・「　きらら浜サイクルミーティング大会　」とは？

・２００８年　ユニフォーム・デザイン

・チーム概要

（２）２００８年選手名鑑

（３）　活動実績

・実業団クラブチーム･エスペランス・スタージュ登録選手　出場大会一覧

・実業団クラブチーム･エスペランス・スタージュ登録選手　メディア露出

（４）　２００８年　収支報告

（１）　実業団クラブチーム「EsperanceStage（エスペランス・スタージュ）」

・「全日本実業団自転車競技連盟（ＪＢＣＦ）登録チーム」の状況

「日本代表選手」や「海外ロードプロ選手」は、「全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）」の登録チームから多く輩出され、各国の国際大会などにＪＢＣＦ所属選手が参戦し、素晴らしい成績を残している。また、国内のメジャー大会である、「全日本選手権大会」「全国都道府県対抗大会」「国民体育大会」では、ＪＢＣＦ所属選手から優勝者が輩出されている。国内のトップレベルの選手が多く所属をしている為、有力大学チームなども「学連登録」と「ＪＢＣＦ登録」を兼用して、年間を通して参戦する傾向にある。

ＪＢＣＦへの登録状況は、およそ２００団体、約１７００名が選手登録をしている。年間約２０大会（ロード競技１５大会・トラック競技４大会）の開催がある。平成１８年度からは新ランキング制度である「ＪＢＣＦサイクルロードレース・ジャパンツアー」が通称「Ｊツアー」として親しまれ、多くの媒体に取り上げられ選手の意識の鼓舞に繋がりレースの活性化に繋がっている。

ロードレースを開催するにあたり、選手のレベルによって３つのカテゴリーに分割されている。国内トップレベルである「ＢＲ－１」、競技経験の豊かな中堅レベルである「ＢＲ－２」、初めて登録した選手が所属する「ＢＲ－３」の３カテゴリー。（男子に限る）選手のカテゴリーの「昇格基準」は、各大会の上位３名が次級カテゴリーへ昇格、または年間ランキングの上位が昇格対象となり、逆に「降格基準」は年間ランキングの下位が降格対象のみとなっている。

・地域密着型クラブチームの必要性

本州の最西部の山口県に本拠地を置く「EsperanceStage」は、地域密着型の実業団クラブチームを目指している。ＪＢＣＦ登録者の多くの居住地方は、近畿・中部・関東・東北に偏っているのが現状である。理由としては、

①　自転車競技の有力大学の場所
②　自転車競技大会の開催場所
③　スポーツとしての認知度

が、挙げられる。

これらの要因により、地方選手は中央部への移住を強いられる場合が多く、中国・九州地方に選手が定着せずにスポーツとしての普及が難しい。

そういった中で、地方選手の底辺を増やし、より高い競技力を作り出す環境を地方に作る事が重要だと考える。また、山口県では、２０１１年に地元開催の「おいでませ！山口国体」が開催予定でもある為、競技力の向上として地元選手の育成、強化を行うことが重要視されている。

・実業団登録クラブチーム「EsperanceStage（エスペランス・スタージュ）」の特性

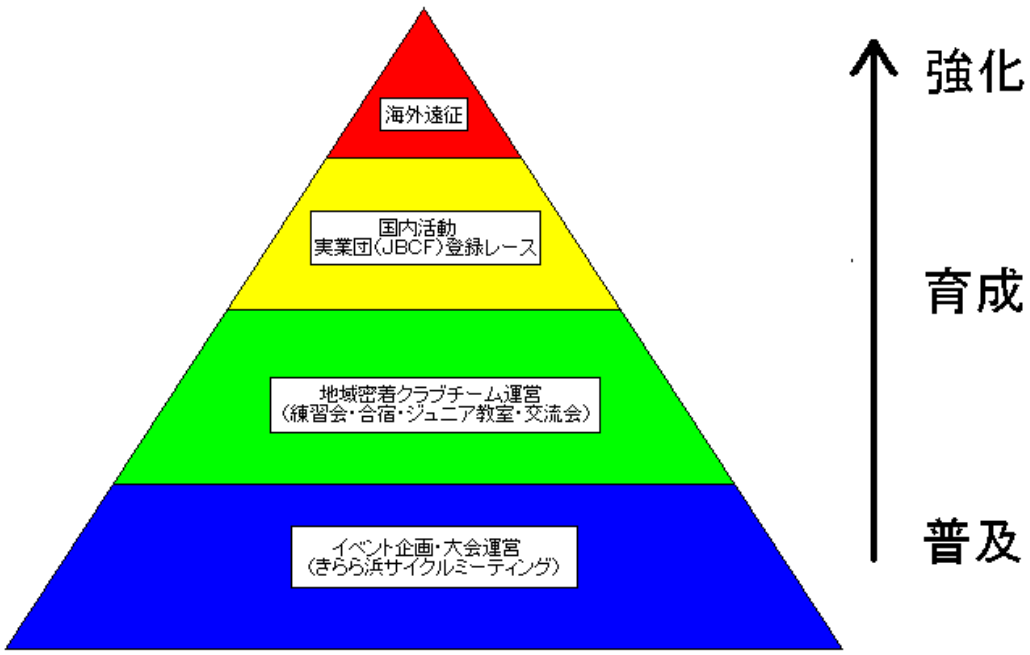
自転車競技の本場であるフランスにおいては、地域密着のクラブチームが無数に存在している。また、そのクラブチームが主体となって、その地域でクラブ主催のレースが開催される為、より多くのレースが毎日のように開催され、選手の競技力向上に繋がっている。

そういった環境を作っていく為にも、「EsperanceStage」チーム代表の棟久明博（山口市出身）は、２００５年より山口県山口市阿知須きらら浜の特設会場にて「きらら浜サイクルミーティング大会」と称したクリテリウム形式の大会を開催している。現在では、年間に春・秋の２回を開催し、１大会で約１５０名の集客を実現している。

その上で、２００７年より実業団クラブチーム「EsperanceStage」を設立し、全国各地で開催される実業団大会を転戦している。現在、山口県の選手を中心に埼玉県・長野県の選手を合わせて、約２５名の選手が在籍している。また、自転車競技の「フランス遠征サポート」を行っているコーディネーター・久保信人（神奈川県出身）の協力の下、希望者にはフランス・アフリカ等の海外遠征の道も開けている。

サイクルスポーツ後進地域である、九州・中国地方から世界へ羽ばたく自転車競技選手を生み出していく為にも、「サイクルスポーツの普及」と「選手の育成」、そしてより高いレベルでの実戦経験を積んでいくことで「競技力向上」を一貫して行っていけるチームを目指している。

図. 実業団登録チーム「EsperanseStage」の普及から強化までの一貫性



・クラブチームの母体となる「 EsperanceStage（エスペランス・スタージュ） 」とは？

エスペランス･スタージュは、一人でも多くの日本人、アジアのサイクリスト、選手にロードレースの本場フランスでのレース体験の場を提供し、それによる日本、アジアにおけるスポーツサイクルの普及、発展、レベル向上を目指し 2003 年設立された。

フランスでレースに参戦するためには、クラブチームとの契約やライセンス取得、滞在アパートの検索や契約、そしてレースまでの移動手段の確保など、レース活動をする為に立ちはだかる問題が多い。そうした渡仏時の問題をサポートし解消することで、限られた貴重な遠征期間をより有効にレース活動に集中できる環境の提供を目指している。

また単身の遠征では、ロードレースに付き物の落車などの事故の際も不安要素も多いが、事故対応や病院への同伴、医師との通訳、ご家族、関係者への連絡、傷害保険の手続き、帰国が必要な場合の帰国手続きなどを行い、より安心して本場でのレース活動に挑戦できる環境を目指している。

サプライヤーとして、「ＯＧＫ（ヘルメット類)」「ＷＡＶＥ ＯＮＥ（ウェア類)」が活動をサポートしている。

※ 本クラブチームにも、海外に挑戦する意志のある選手に限って、サポート品が貸与されている。

・「 きらら浜サイクルミーティング大会 」とは？

2004 年にフランスから帰国した本クラブチーム代表である「棟久明博」が発起人となって、山口県山口市阿知須町の「山口県きららスポーツ交流公園（現：山口県きらら博記念公園)」の北側大駐車場内に特設コース（1 周 2.5 km）で 2005 年 5 月より自転車ロードレース競技大会を開催している。

基本的には「棟久明博」が事務局となり大会の企画運営を行っているが、会場の借地の関係上で主催は「山口県自転車競技連盟」となり、後援として「山口県教育委員会」「(財）山口県体育協会」となっている。２０１１年開催の地元開催「おいでませ！山口国体」の強化事業として開催している面もある。大会スタッフは、地元の愛好者によるボランティアで成り立っている。

大会規模としては、山口県はもとより近県の広島県、福岡県及び九州北部地方の参加者も多く、1 大会１５０名程度の参加者がある。これまでは、年間２大会（４～５月、１１月～１２月）の開催で本年の１２月大会で６回目の開催となっている。本クラブチーム創立に伴って、本クラブのスポンサーとして援助を行っている。

・２００８年　ユニフォーム・デザイン

①　ロード・ジャージ上下　（製作：ＷＡＶＥ　ＯＮＥ）

※　国内仕様のデザイン。海外（フランス等）で活動する選手のデザインとは、若干の違いがあります。

②　スタッフＴシャツ　（製作：ＷＡＶＥ　ＯＮＥ）

※　国内仕様のデザイン。海外（フランス等）で活動する選手のデザインとは、若干の違いがあります

・チーム概要（２００８年１１月１７日　現在）

事務局	〒754-0897 山口県山口市嘉川４１８８番地
電話	083-989-2773（兼 FAX） 090-4795-4207（携帯）
ＵＲＬ	http://blogs.yahoo.co.jp/esperancestage_jpn
活動拠点	日本・フランス語圏（フランス・アフリカなど）
代表／監督	棟久　明博
ＧＭ	久保　信人
クラブ員	４７名（ＢＲ１：６名　　ＢＲ２：６名　　ＢＲ３：２５名　　未登録：１０名）
スポンサー	９社
サプライヤー	３社

名称の由来	「　Esperance Stage　」　（フランス語） ・直訳で「希望の経験」。フランス遠征コーディネーターで本クラブのＧＭである久保信人が、より多くのサイクリストが海外で活動できるようにという願いが込めて海外で使用しているチーム名称。海外遠征サポートを行う際に使用していた名称を、国内でも認知普及させる為に、宣伝広告として名称を使用。
設立目的	・地域密着型のクラブチーム ・全日本実業団自転車競技連盟登録のチーム ・「２０１１年やまぐち国体」に地元選手を輩出するチーム ・国際大会（国内・海外）に出場できるチーム
スポンサー 名　　称	・ＥｓｐｅｒａｎｃｅＳｔａｇｅ　　（フランス遠征コーディネート） ・株式会社　濱本塗装店　　（建築塗装業） ・きらら浜サイクルミーティング大会　　（自転車ロードレース大会） ・株式会社ロアゾブルー　　（菓子工房） ・都濃自転車店　　（自転車店） ・日出男商会　　（自転車店） ・（有）アノサイクル　　（自転車店） ・サイクリングサロン ヒロシゲ　　（自転車店） ・三井商会　　（？）
サプライヤー 名　　称	・オージーケーカブト株式会社　　（ヘルメット、グラブ、バーテープ、ボトル） ・株式会社ウェイブワン　　（ウェア） ・株式会社ニューレックス　　（サプリメント）
サポート 会　　員	≪　法　人　≫ ・サイクルセンターマツナガ　（自転車店） ・サイクルピット２４０　（自転車店） ・ル・モンド・ヴェロ　（自転車店） ≪　個　人　≫ 岡田麻衣子　小倉英治　上村早　河村金満　久保信人　白木孝明 杉本大輔　鳴谷至佐子　波多野正彦　棟久和佳　棟久房枝　村上真実

（２）２００８年選手名鑑

実業団登録クラブチーム「EsperanceStage」　登録選手

実業団カテゴリー	氏名	登録地	2008年の主な実績
BR-1	ｺﾐﾈ ﾂﾖｼ　小峰　剛	長野	全日本実業団クリテリウムいわき（BR2）　2位入賞
	ﾂｽｴ ｺｳﾍｲ　津末　浩平	大分	全日本選手権ロードレース　完走
	ﾅﾙﾀﾆ ｺｳｲﾁ　鳴谷　浩一	山口	TOUR DE KUMANO（UCI2.2）　出場
	ﾋｸﾞﾏ ﾕｳｽｹ　日隈　優輔	福岡	TOUR DE KUMANO（UCI2.2）　出場
	ﾌｸﾊﾗ ﾀﾞｲ　福原　大	埼玉	全日本実業団対抗ロードレース　完走
	ﾑﾈﾋｻ ｱｷﾋﾛ　棟久　明博	山口	全日本実業団ロードレース加東　完走
BR-2	ｲｹﾓﾄ ﾕｷｵ　池本　幸男	山口	実業団しらびそヒルクライム（BR3）　優勝
	ｲﾄｳ ﾂﾊﾞｻ　伊藤　翼	福岡	実業団舞洲クリテリウム（BR3）　優勝
	ｶﾅﾓﾘ ｼｮｳｲﾁ　金森　翔一	山口	TOUR DE KUMANO（UCI2.2）　出場
	ﾂﾀﾞ ｹｲ　津田　桂	富山	全国都道府県対抗大会ロードレース　富山県代表
	ﾆｼｶﾜ ﾏｻﾋﾛ　西川　昌宏	山口	実業団ロードレース輪島（BR3）　優勝
	ﾔﾍﾞ ﾉﾘﾕｷ　矢部　紀行	東京	フランス遠征
BR-3	ｱｽﾞﾏ ｸﾆｵ　東　国男	山口	―
	ｱﾍﾞ ﾐﾂﾋﾛ　阿部　充宏	山口	実業団舞洲クリテリウム（BR3）　4位入賞
	ｱﾗﾏｷ ｶｽﾞﾖｼ　荒牧　和敬	福岡	―
	ｱﾝﾄﾞｳ ｺｳﾀ　安東　航太	福岡	―
	ｲｼﾞﾁ ﾋﾛｱｷ　伊地知　弘章	埼玉	―
	ｲﾉｳｴﾑｶﾞ　井上無我	山口	―
	ｵｵﾊﾏ ﾏｻﾋﾛ　大浜　雅宏	埼玉	―
	ｶﾈﾀﾞ ﾐﾂﾙ　金田　充	山口	―
	ｸﾘｻｷ ﾔｽﾋｻ　栗崎　靖久	山口	―
	ｸﾜﾊﾗ ﾖｼﾊﾙ　桑原　良治	山口	―
	ｻﾜﾀﾞ ｼﾞｭﾝ　沢田　淳	山口	―
	ｻﾜﾀﾞ ﾕｳｼﾞ　沢田　勇治	山口	―
	ｼﾗｶﾞﾐ ﾋﾛﾕｷ　白上　浩之	山口	―
	ﾀﾅｶ ｹﾝｼﾞ　田中　謙治	山口	―
	ﾀﾊﾞﾀ ﾏｻﾄ　田畑　政人	埼玉	―
	ﾀﾞﾝ ｺｳﾍｲ　壇　耕平	福岡	実業団西日本ロードレース（BR3）　4位入賞
	ﾊﾀﾉ ﾏｻﾋｺ　波多野　正彦	山口	―
	ﾊﾞﾝ ﾋﾃﾞｱｷ　伴　英明	山口	―
	ﾋﾗﾉ ﾏｻｶｽﾞ　平野　政一	山口	―
	ﾏﾅﾍﾞ ｴｲｽｹ　真鍋　英佑	山口	―
	ﾓﾘｵｶ ﾄﾓﾕｷ　盛岡　智之	山口	―
	ﾔﾏｸﾞﾁ ｼｭｳﾍｲ　山口　秀平	福岡	―

	ﾔﾏﾓﾄ ﾅｵﾄ 山本 直人	山口	―
	ﾖｼﾂｸﾞ ｹｲｽｹ 吉次 圭佑	山口	―
	ﾖｼﾂｸﾞ ﾕｳｼﾞ 吉次 裕司	山口	―
未登録	ｱﾍﾞﾀｶﾕｷ 安部隆之	（福岡）	―
	ｲﾅﾘ ﾏｻﾋｺ 稲荷 雅彦	（東京）	―
	ｲﾜﾌｼﾞ ｼﾛｳ 岩藤 司朗	（茨城）	―
	ｶﾜﾑﾗ ｼｹﾞｵ 河村 茂夫	（山口）	―
	ｽｷﾞﾓﾄ ﾀﾞｲｽｹ 杉本 大輔	（千葉）	―
	ﾊﾗｷ ﾋﾃﾞﾉﾘ 原木 秀典	（山口）	―
	ﾋﾗｷ ﾕｳｻﾞﾌﾞﾛｳ 平木 雄三郎	（山口）	―
	ﾌｼﾞﾑﾗ ﾂﾖｼ 藤村 剛	（山口）	―
	ﾌｼﾞﾓﾄ ﾔﾉｽｹ 藤本 弥之助	（山口）	―

（３）活動実績

実業団クラブチーム･エスペランス・スタージュ登録選手　出場大会一覧

開 催 日		大　会　名	開 催 場 所
2 月	8 日～10 日	EsperanceStage山口県合宿	山口県山口市
3 月	16 日（日）	西日本チャレンジサイクルロードレース大会	広島県･中央森林公園
	23 日（日）	きらら浜サイクルミーティング大会	山口県山口市･きらら浜
4 月	6 日（日）	チャレンジサイクルロードレース	静岡県･日本 CSC
	6 日（日）	【実業団･普及】ヒルクライムin伊吹山ドライブウェイ	岐阜県関が原町
	13 日（日）	南日本サイクルロードレース大会	鹿児島県さつま市
	20 日（日）	【実業団･普及】舞洲クリテリウム大会	大阪府･舞洲ｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ
	27 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】東日本サイクルロードレース大会	群馬県･群馬 CSC
5 月	9 日～11 日	Tour de 熊野	和歌山県･紀州
	18 日（日）	【実業団･普及】しらびそ高原ヒルクライム	長野県飯田市
	18 日～25 日	TOUR OF JAPAN	大阪～東京
	31 日（土）	全日本ｱﾏ選手権ロード･ｼﾞｭﾆｱ全日本選手権ロード	広島県･中央森林公園
6 月	1 日（日）	全日本選手権ロードレース（ｴﾘｰﾄ）	広島県･中央森林公園
	1 日（日）	【実業団･普及】乗鞍スカイラインヒルクライム	岐阜県高山市
	8 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】全日本実業団個人 TT ﾛｰﾄﾞ選手権	長野県栂池高原
	8 日（日）	中国地域自転車道路競争大会	広島県･中央森林公園
	8 日（日）	壱岐サイクルフェスティバル	長崎県壱岐島
	15 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】富士山国際ﾋﾙｸﾗｲﾑｻｲｸﾙﾛｰﾄﾞﾚｰｽ	静岡県小山町
	22 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】西日本サイクルロードレース大会	広島県･中央森林公園
7 月	6 日（日）	【実業団･普及】サイクルロードレースin富士ｽﾋﾟｰﾄﾞｳｪｲ	静岡県･富士ｽﾋﾟｰﾄﾞｳｪｲ
	20 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】サイクルロードレースin石川	福島県石川町
	20 日（日）	山口県内自転車競技選手権大会　兼国体選手選考会	山口県･防府競輪場
	27 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】サイクルロードレースin小川	長野県小川村
8 月	3 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】サイクルロードレースin丸岡	福井県坂井市
	10 日（日）	中四国九州ジュニアチャレンジ･ザ･バンク	山口県･防府競輪場
	24 日～26 日	全国都道府県対抗自転車競技大会	新潟県･南魚沼、弥彦
	31 日（日）	シマノ鈴鹿国際ロードレース	三重県･鈴鹿サーキット
9 月	6 日～7 日	【実業団･J ﾂｱｰ】全日本実業団対抗ｻｲｸﾙﾛｰﾄﾞﾚｰｽ大会	岩手県紫波町
	14 日（日）	【実業団･普及】舞洲クリテリウム大会	大阪府･舞洲ｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ
	21 日（日）	日本スポーツマスターズ自転車競技大会	高知県高知市
	28 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】サイクルロードレースin飯田	長野県飯田市
	28 日～10/2	国民体育大会自転車競技会	大分県･日田、別府
10 月	4 日～5 日	【実業団･J ﾂｱｰ】クリテリウムinいわき	福島県いわき市
	12 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】サイクルロードレースin加東	兵庫県･播磨公園
	19 日（日）	【実業団･J ﾂｱｰ】輪島災害復興ロードレース（仮）	石川県輪島市
	25 日～27 日	JAPAN CUP	栃木県宇都宮市
	9 日（日）	ツール･ド･沖縄	沖縄県･名護市他
	9 日（日）	山口県体育大会自転車競技大会	山口県･防府競輪場
	30 日（日）	きらら浜サイクルミーティング大会	山口県山口市･きらら浜
12 月			

実業団クラブチーム･エスペランス・スタージュ登録選手　メディア露出
２００８年

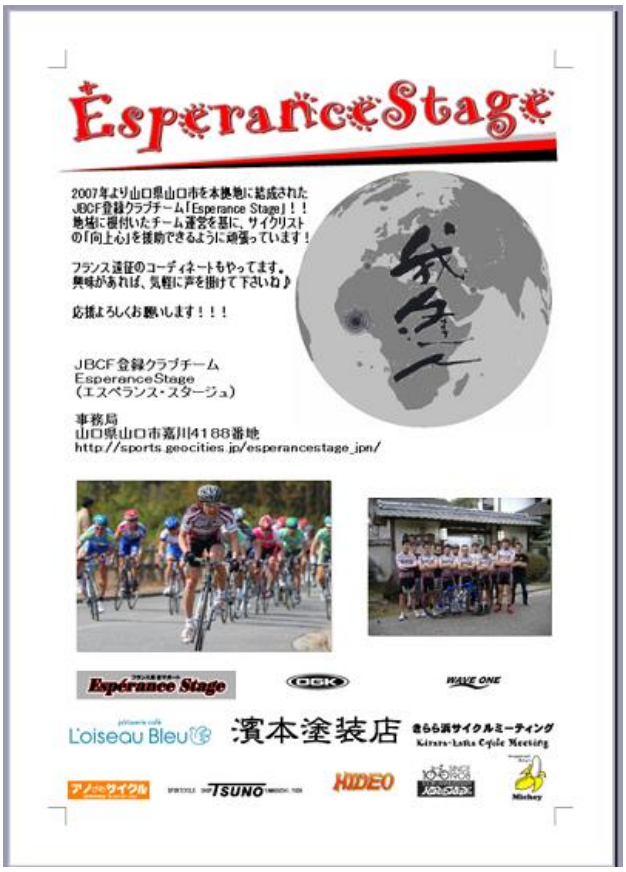
日　時	媒　体	対　象　・　内　容	地　域
１月３日（木）	**サンデー山口** **（山口市近郊タウン情報紙）**	対象：棟久明博（EsperanceStage 所属） サイクルスポーツ普及活動、 地域密着型クラブチームの結成	山口市 近郊
３月２４日（月） 発行	**朝日新聞地方スポーツ面**	きらら浜サイクルミーティング　結果	山口県 全域
１２月１日（月）	**山口新聞**	きらら浜サイクルミーティング　結果	山口県 全域

２００８年　主なＰＲ活動

・きらら浜サイクルミーティング大会（山口県山口市）において、ホストチームとしてＥｓｐｅｒａｎｃｅＳｔａｇｅが運営協力した。チーム内のＢＲ１及びＢＲ２選手を招待し、エリートの部（ＪＣＦ登録者）に出走。スタッフとしても受付や、コース設営等に参加した。その中で中国及び九州・四国地方へのチームＰＲ活動を行った。

①２００８年　３月大会（2008/03/23 開催）　　総エントリー数１７４名
②２００８年１１月大会（2008/11/30 開催）　　総エントリー数１９５名

・ツールドくまの（UCI2.2）へチーム参戦。大会協賛金として 30 万円を支払い、プログラムにＰＲ広告を掲載した。



（４）　２００８年収支中間報告

収　入	スポンサー	7団体	¥606,500
	選手会員	37名	¥177,000
	サポーター会員	3団体、22名	¥294,000
	選手負担金	実業団登録選手（37名）	¥2,000,000
	利子	ゆうちょ銀行	¥550
	合計（A）		**¥3,078,050**
支　出	登録費	JBCF個人年会費 JCF登録費	¥198,500
	大会参加費	南日本ロード（10名） 大分サイクルフェスタ（9名） 舞洲クリテ（8名） 東日本ロード（9名） ツールド熊野[UCI2.2] しらびそ HC（3名） 乗鞍 HC（1名） 実業団個人TT（5名） 富士山HC（1名） 西日本ロード（20名） 富士スピードウェイ（5名＋1名追加） 実業団ロード石川（3名） 実業団ロード小川（11名） 実業団ロード丸岡（11名） 全日本実業団対抗ロード（5名） 舞洲クリテ（8名） 実業団ロード飯田（4名） 実業団クリテいわき（2名） 実業団ロード加東（10名） 実業団ロード輪島（9名）	¥846,000
	振込手数料	実業団大会及びその他大会エントリー	¥6,450
	繰越負債	2007年繰越	¥6,463
	事務経費	会報作成・郵送費・チームカー整備等	¥230,929
	ウェア	初期発注分（半袖、ビブ、長袖、Tシャツ・冬用アイテムなど）	¥997,000
	選手支援費	JBCFチーム年会費 Jツアー参加料 （2008年シーズン当初のBR1選手） 津末浩平 （BR1：2007年度Jツアー上位者） 棟久明博 （事務局を兼任） ツールド熊野 参加補助（大会協賛金及び交通費の一部） 津末浩平 （チーム規定内での補助） 伊藤　翼 （　同上　） 阿部充宏 （　同上　） 壇　耕平 （　同上　） 小峰剛 （　同上　） 西川昌宏 （　同上　） など	¥650,698
	返金	ツールド熊野でのリザーブ選手への返金	¥40,000
	合計（B）		**¥2,976,040**
（A）－（B）		繰越金	**¥102,010**

２００８年１２月　印刷
２００８年１２月　発行

編　集　　ＥｓｐｅｒａｎｃｅＳｔａｇｅ
責 任 者　　代表　棟久　明博
事務局　山口県山口市嘉川４１８８
ＴＥＬ　０８３（９８９）２７７３